

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

133

(11)Publication 08-022526
n number :

(43)Date of 23.01.1996
publication of
application :

(51)Int.Cl.

G06K 19/10

B42D 15/10

E05B 35/00

G06K 17/00

G06K 19/077

(21)Applicati 06-156152
on number :

(71)Applicant MITSUBISHI PLASTICS IND LTD
:

(22)Date of 07.07.1994
filing :

(72)Inventor : TATSUGUCHI YOSHIHIRO

(54) IC CARD

(57)Abstract:

PURPOSE: To freely lock and unlock an object with a locking/unlocking notched groove formed in an IC card at the time when an IC card reader cannot be operated by providing the IC card incorporating an IC chip with the locking/ unlocking notched groove.

CONSTITUTION: AD IC card 1 incorporates the IC chip, and a discrimination code is recorded in the IC chip, and the recorded discrimination code is read through an external terminal 2 by the IC card reader and is compared with a discrimination code recorded in the IC card reader; and when they coincide with each other, the object is locked or unlocked. A locking/unlocking notched groove 3 is formed in the IC card 1. This locking/unlocking notched groove 3 is formed in the side of the front end in the direction where the IC card 1 is inserted to the IC memory reader. Since the locking/unlocking notched groove 3 is provided in the IC card 1 in this manner, the object is locked or unlocked by the locking/unlocking notched groove 3 formed in the IC card 1 when the IC card reader cannot be operated because of a fault or the like.

CLAIMS

[Claim 1] The IC card which is an IC card which built in IC chip and is characterized by establishing the notch slot for locking opening and closing in an IC card.

52

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-22526

(43) 公開日 平成8年(1996)1月23日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 K 19/10				
B 4 2 D 15/10	5 2 1			
E 0 5 B 35/00		B		

G 0 6 K 19/ 00

R

K

審査請求 未請求 請求項の数1 O L (全 2 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平6-156152

(22) 出願日 平成6年(1994)7月7日

(71) 出願人 000006172

三菱樹脂株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目5番2号

(72) 発明者 龍口 義博

神奈川県平塚市真土2480番地 三菱樹脂株式会社平塚工場内

(74) 代理人 弁理士 近藤 久美

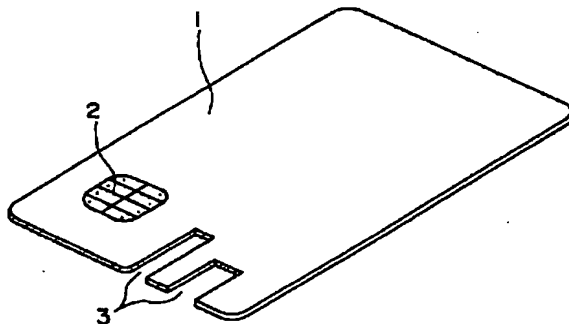
(54) 【発明の名称】 I Cカード

(57) 【要約】

【目的】 I Cチップを内蔵したI Cカードに関し、特に停電時等I Cカード読取装置が動作不能の時にも施錠の開閉を自在としたI Cカードを提供する。

【構成】 I Cチップを内蔵したI Cカードであって、I Cカードに施錠開閉用の切欠溝を設ける。

【効果】 I Cカード読取装置が動作不能の時、I Cカードに形成した施錠開閉用の切欠溝により施錠を開閉自在とすることができる。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ICチップを内蔵したICカードであって、ICカードに施錠開閉用の切欠溝を設けたことを特徴とするICカード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ICチップを内蔵したICカードに関し、特に停電時等ICカード読取装置が動作不能の時に施錠の開閉を自在としたICカードに関する。

【0002】

【従来技術とその課題】 従来、図2に斜視図で示すように、ICチップ（図示略）を内蔵したICカード1をICカード読取装置（図示略）に挿入し、外部端子2を介してICチップに記録された識別コードを読み取り、ICカード読取装置内部に記録された識別コードと比較して、両者が一致すると施錠を開閉することが知られている。しかしながら、停電時又はICカード読取装置が故障時等、ICカード読取装置の動作が不能の時には、施錠の開閉を行なうことができないという問題点があった。

【0003】

【課題を解決するための手段】 本発明は、上記課題を解決するものであって、その要旨は、ICチップを内蔵したICカードであって、ICカードに施錠開閉用の切欠溝を設けることによって、ICカード読取装置が動作不能の時、ICカードに形成した施錠開閉用の切欠溝により施錠を開閉自在としたものである。

【0004】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面にに基づき具体的

2

に説明する。図1は本発明のICカードを示す斜視図である。

【0005】 図1に斜視図で示すように、本発明のICカード1はICチップ（図示略）を内蔵し、ICチップに識別コードを記録し、外部端子2を介してICカード読取装置により記録された識別コードを読み取り、ICカード読取装置内部に記録された識別コードと比較して、両者が一致すると施錠を開閉するのは、従来と同様であるが、本発明においては、ICカード1に施錠開閉用の切欠溝3を形成したことに特徴がある。施錠開閉用の切欠溝3はICカード1をICメモリ読取装置に挿入する方向の辺に形成すれば良い。こうして、ICカード1に施錠開閉用の切欠溝3により、停電時又はICカード読取装置が故障時等、ICカード読取装置の動作が不能の時には、ICカード1に形成した施錠開閉用の切欠溝3により施錠を開閉することができるのである。

【0006】

【発明の効果】 以上の通り、本発明によれば、ICチップを内蔵したICカードであって、ICカードに施錠開閉用の切欠溝を設けることによって、ICカード読取装置が動作不能の時、ICカードに形成した施錠開閉用の切欠溝により施錠を開閉自在とすることができるなどの利点がある。

【図面の簡単な説明】

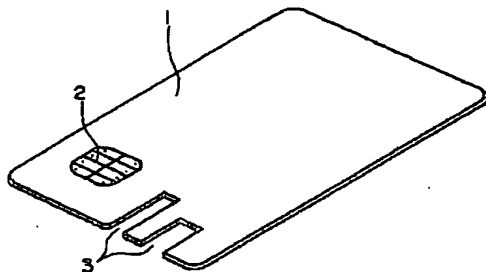
【図1】 本発明のICカードを示す斜視図

【図2】 従来のICカードを示す斜視図

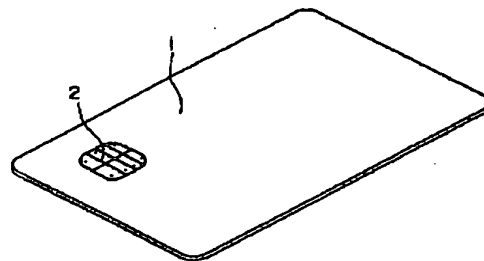
【符号の説明】

- 1 ICカード
- 2 外部端子
- 3 施錠開閉用の切欠溝

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6

G 0 6 K 17/00

19/077

識別記号

庁内整理番号

Y

F I

技術表示箇所